泉大津市

決裁日 30 年 7 月 5 日

支出命令書（一般）

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
＊＊	＊＊	＊＊	＊＊	＊＊				

会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		＊＊		＊＊		＊＊		

起票日	平成 30年 7月 5日	所属	080100 市議会事務局
年度	平成 30 年度	会計	01 一般会計
予算区分	0 現年度		

科目	
款	01 議会費
項	01 議会費
目	01 議会費
事業	040000 議会調査研究事業
節	19 負担金、補助及び交付金
細節	90 その他
細々節	06 政務活動費

金額	216,700 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	5 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	900,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	362,775 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	537,225 円	請求書番号			
源泉支払内容	**********				

件名	旅費 7/18～7/20 北海道室蘭市、小樽市及び上川郡鷹栖町視察旅費
摘要	

債権者等				
支払方法	21 現金払	支払希望日	平成３０年７月１７日	
住所				
名称	おづ代表者 清水 勝			
役職等/氏名				
銀行/口座				
口座名義人		債権者番号		

領収			
住所		領収印	
氏名	おづ代表者 清水 勝		

上記の金額を領収しました。平成３０年７月１７日
平成 年 月 日

泉大津市 会計管理者 あて

支払済

支出負担行為確認

001
負担行為番号
30-000608

伝票番号
30-005073

呼出番号
00115120

整理番号
30-000012-05

30 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供覧	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員

別記様式第５号（第４条関係）

政務活動費交付請求書

平成３０年　７月　５日

泉大津市長
南　出　賢　一　様
（泉大津市議会議長経由）

会 派 名　　おづ
代表者名　　清水　　勝　　印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第４条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	２１６，７００円		
内訳	7/18～7/20 北海道室蘭市、小樽市及び上川郡鷹栖町視察旅費 @108,350円×２人		
支払先	中谷　昭　・貫野　幸治郎		
予算科目	旅　費	交付残額	537,225円
使用者名	中谷　昭　・貫野　幸治郎		

平成30年度

出 張 申 請 書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	中谷　昭
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	

出張先（順路）　室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２）
小樽市役所（北海道小樽市花園２丁目１２－１）
鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南１条３丁目５－１）

目的及び用件　公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市）
客船誘致促進事業について（小樽市）
たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
関西空港		670						670
〃		ANA1711便						
｜（飛行機）		（旅割28H）						
新千歳空港		24,300						24,300
〃								
｜（JR千歳線）	2.6							
南千歳								
〃								
｜（JR千歳線・JR室蘭本線）	67.7 ┐ 94.8							
登別		1,980						1,980
〃								
｜（JR室蘭本線）	24.5							
室蘭								
〃								
｜（JR室蘭本線）	7.0							
東室蘭								
〃			特急料金					
｜（JR室蘭本線・JR千歳線）	129.2 ┐		（スーパー北斗）		1泊	2日		
札幌	136.2	2,490	2,320		15,000	7,000		26,810
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
小樽		640						640
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
札幌								
〃	136.8		特急料金					
｜（JR函館本線）	170.6 ┘		（ライラック）		1泊	1日		
旭川		3,240	2,320		15,000	3,500		24,060
旭川				円	円	円	円	円
｜（道北バス）		円	円					
北一条3丁目				510				510
〃								
｜（道北バス）								
旭川				510				510

主管課用

平成30年度

出 張 申 請 書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	中谷　昭
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	
出張先（順路）	室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２） 小樽市役所（北海道小樽市花園２丁目１２－１） 鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南１条３丁目５－１）		
目的及び用件	公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市） 客船誘致促進事業について（小樽市） たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
旭川 ｜（JR函館本線） 札幌	171.8	3,380	特急料金 （ライラック） 2,320	円	円	円	円	円 5,700
〃 ｜（JR千歳線） 新千歳空港								
〃 ｜（飛行機） 関西空港		JAL2506便 （先得割引タイプA） 22,500						22,500
〃 ｜（南海本線） 泉大津		670						670
							計	108,350

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	中谷　昭
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	

出張先（順路）　室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２）
小樽市役所（北海道小樽市花園2丁目12－1）
鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5－1）

目的及び用件　公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市）
客船誘致促進事業について（小樽市）
たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
関西空港		670						670
〃		ANA1711便						
｜（飛行機）		（旅割28H）						
新千歳空港		24,300						24,300
〃								
｜（JR千歳線）	2.6							
南千歳								
〃								
｜（JR千歳線・JR室蘭本線）	67.7 ｜ 94.8							
登別		1,980						1,980
〃								
｜（JR室蘭本線）	24.5							
室蘭								
〃								
｜（JR室蘭本線）	7.0							
東室蘭								
〃			特急料金					
｜（JR室蘭本線・JR千歳線）	129.2		（スーパー北斗）		1泊	2日		
札幌	136.2	2,490	2,320		15,000	7,000		26,810
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
小樽		640						640
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
札幌								
〃	136.8		特急料金					
｜（JR函館本線）	170.6		（ライラック）		1泊	1日		
旭川		3,240	2,320		15,000	3,500		24,060
旭川				円	円	円	円	円
｜（道北バス）		円	円					
北一条3丁目				510				510
〃								
｜（道北バス）								
旭川				510				510

右の金額領収いたしました。

金額	¥	1	0	8	3	5	0
				千			円

平成　　年　　月　　日

職名　おづ

泉大津市会計管理者　殿

氏名　中谷　昭　　印

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	中谷　昭
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	

出張先（順路）　室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２）
小樽市役所（北海道小樽市花園2丁目12－1）
鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5－1）

目的及び用件　公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市）
客船誘致促進事業について（小樽市）
たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
旭川			特急料金	円	円	円	円	円
｜（JR函館本線）			（ライラック）					
札幌	171.8	3,380	2,320					5,700
〃								
｜（JR千歳線）								
新千歳空港								
〃		JAL2506便						
｜（飛行機）		（先得割引タイプA）						
関西空港		22,500						22,500
〃								
｜（南海本線）								
泉大津		670						670
							計	108,350
｜（　　線）								
｜（　　線）								

右の金額領収いたしました。

金額　千　円

平成　　年　　月　　日

職名　おづ

泉大津市会計管理者　殿

氏名　中谷　昭　　印

平成30年度

出 張 申 請 書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	貫野　幸治郎
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	
出張先（順路）	室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２） 小樽市役所（北海道小樽市花園２丁目１２－１） 鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南１条３丁目５－１）		
目的及び用件	公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市） 客船誘致促進事業について（小樽市） たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
関西空港		670						670
〃		ANA1711便						
｜（飛行機）		（旅割28H）						
新千歳空港		24,300						24,300
〃								
｜（JR千歳線）	2.6							
南千歳								
〃								
｜（JR千歳線・JR室蘭本線）	67.7 ｜ 94.8							
登別		1,980						1,980
〃								
｜（JR室蘭本線）	24.5							
室蘭								
〃								
｜（JR室蘭本線）	7.0							
東室蘭								
〃			特急料金					
｜（JR室蘭本線・JR千歳線）	129.2 ｜ 136.2		（スーパー北斗）		1泊	2日		
札幌		2,490	2,320		15,000	7,000		26,810
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
小樽		640						640
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
札幌								
〃	136.8		特急料金					
｜（JR函館本線）	170.6		（ライラック）		1泊	1日		
旭川		3,240	2,320		15,000	3,500		24,060
旭川				円	円	円	円	円
｜（道北バス）		円	円					
北一条3丁目				510				510
〃								
｜（道北バス）								
旭川				510				510

主管課用

平成30年度

出 張 申 請 書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	貫野　幸治郎
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	
出張先（順路）	室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２） 小樽市役所（北海道小樽市花園２丁目１２－１） 鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南１条３丁目５－１）		
目的及び用件	公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市） 客船誘致促進事業について（小樽市） たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
旭川 ｜（JR函館本線） 札幌	171.8	3,380	特急料金 （ライラック） 2,320	円	円	円	円	円 5,700
〃 ｜（JR千歳線） 新千歳空港								
〃 ｜（飛行機） 関西空港		JAL2506便 （先得割引タイプA） 22,500						22,500
〃 ｜（南海本線） 泉大津		670						670
							計	108,350

主管課用

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	貫野　幸治郎
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	

出張先（順路）
室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２）
小樽市役所（北海道小樽市花園２丁目１２－１）
鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南１条３丁目５－１）

目的及び用件
公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市）
客船誘致促進事業について（小樽市）
たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
｜（南海本線）		円	円					
関西空港		670						670
〃		ANA1711便						
｜（飛行機）		（旅割28H）						
新千歳空港		24,300						24,300
〃								
｜（JR千歳線）	2.6							
南千歳								
〃								
｜（JR千歳線・JR室蘭本線）	67.7 ｜ 94.8							
登別		1,980						1,980
〃								
｜（JR室蘭本線）	24.5							
室蘭								
〃								
｜（JR室蘭本線）	7.0							
東室蘭								
〃			特急料金					
｜（JR室蘭本線・JR千歳線）	129.2 ｜ 136.2		（スーパー北斗）		1泊	2日		
札幌		2,490	2,320		15,000	7,000		26,810
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
小樽		640						640
〃								
｜（JR函館本線）	33.8							
札幌								
〃	136.8		特急料金					
｜（JR函館本線）	｜ 170.6		（ライラック）		1泊	1日		
旭川		3,240	2,320		15,000	3,500		24,060
旭川				円	円	円	円	円
｜（道北バス）		円	円					
北一条3丁目				510				510
〃								
｜（道北バス）								
旭川				510				510

右の金額領収いたしました。

金額　¥108,350円

平成　　年　　月　　日

職名　おづ

泉大津市会計管理者　殿

氏名　貫野　幸治郎　印

平成30年度

領収書兼旅費明細書

（出　張）

会派名	おづ	氏名	貫野　幸治郎
出発・帰庁年月日	出発　30年7月18日	帰庁　30年7月20日	

出張先（順路）　室蘭市役所（北海道室蘭市幸町１－２）
小樽市役所（北海道小樽市花園２丁目１２－１）
鷹栖町役場（北海道上川郡鷹栖町南１条３丁目５－１）

目的及び用件　公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について（室蘭市）
客船誘致促進事業について（小樽市）
たかすサポーターズカードについて（鷹栖町）

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
旭川			特急料金	円	円	円	円	円
｜（JR函館本線）			（ライラック）					
札幌	171.8	3,380	2,320					5,700
〃								
｜（JR千歳線）								
新千歳空港								
〃		JAL2506便						
｜（飛行機）		（先得割引タイプA）						
関西空港		22,500						22,500
〃								
｜（南海本線）								
泉大津		670						670
							計	108,350
｜（　　線）								
｜（　　線）								

右の金額領収いたしました。

金額				十			円

平成　　年　　月　　日

職名　おづ

泉大津市会計管理者　殿

氏名　貫野　幸治郎　　印

□決　裁　　■供　覧

受発記号・番号		収受年月日	平成30年8月6日
差出名	おづ　中谷　昭、貫野　幸治郎		
あて名	泉大津市議会議長	提出期限	
収受文書の記号		収受文書の日付	平成30年8月6日
件名	報告書		

議長	副議長	事務局長	次長	合議				
主管 次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員					

処理上の意見及び注意事項

日　時：平成３０年７月１８日（水）～７月２０日（金）

出張先：北海道（室蘭市、小樽市、鷹栖町）

目　的：室蘭市　公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について

小樽市　客船誘致促進事業について

鷹栖町　たかすサポーターズカードについて

会派代表

報　告　書

No.1

平成 30 年 8 月 6 日

泉大津市議会議長　様

（会派名）　おづ

出張者氏名　中谷昭　印

貫野幸治郎　印

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日　時　平成 30 年 7 月 18 日（水）～ 7 月 20 日（金）

2.出張先　北海道（室蘭市、小樽市、鷹栖町）

3.目　的
- 室蘭市／公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について
- 小樽市／客船誘致促進事業について

4.報告事項
- 鷹栖町／たかすサポーターズカードについて

<目標><報告><所感>については別紙参考

日程

○1日目（7/18）

AM8:00 ANA711にて関空発　AM10:20バス 新千歳空港 到着（定刻より30分遅れる）

AM11:00 JR新千歳空港駅発（南千歳 登別にて乗換え）PM0:40 室蘭 到着

◎ PM1:00～PM3:30 室蘭市 視察（PM1:30～PM3:40 市役所にて
PM3:45～PM5:10 室蘭市役所のワゴンにて市内見学

PM5:47 JR室蘭駅発（東室蘭にて乗換え）PM6:41 札幌 到着 地下鉄南北線にて中島公園駅へ
PM6:15頃 ホテル（リッチ札幌すすきの）にチェックイン

○2日目（7/19）

AM8:30 ホテルチェックアウト 地下鉄 中島公園駅へ 札幌駅にて下車 JR札幌駅へ移動
AM8:43 JR札幌駅発　AM9:28 小樽 到着

◎ AM9:45～PM0:00 小樽市 視察 市役所にて

PM1:40 JR小樽駅発（札幌にて乗換え）PM5:55 旭川 到着
PM6:0 ホテル（ダイワロイネット旭川駅前）にチェックイン

○3日目（7/20）

AM8:30 ホテルチェックアウト 旭川駅前バスターミナルへ（道北バス路線番号34）
AM8:45 バス 旭川駅前発　AM9:28 北栄3丁目（町役場前）着 下車

◎ AM9:35～AM11:15 鷹栖町 視察 町役場にて

AM11:30 バス 北栄3丁目発 AM11:55 旭川駅前 到着
PM0:10 JR旭川駅発（北広島にて乗換え）PM4:12 新千歳空港駅 到着
PM6:05 ANA2506にて新千歳空港発　PM8:17 関空 到着（定刻より7分遅れる）

以上

○移動車中で感じた事---

南海空港線やナンバ駅でよくみかける中国、韓国、東南アジアからの観光客を道内の特急列車でも多数みかけた事である。特に南千歳→登別間の特急では登別温泉をめざし多数の人々が又札幌→旭川間の特急では富良野をめざし多数の人々が（旭川駅特急列車駅滝川で下車、富良野行きに乗換え）乗車していた訳である。本当に観光スポットをよく調査し行動している。海外の観光客の実態を一部かいまみた感である。

報告 所感

① 室蘭市

○ 公共施設再編に伴う新たな複合公共施設整備事業について——

(イ) ~~室蘭市について~~ 室蘭市について

- 開港145年を超える天然の良港（室蘭港）を擁し、製鉄、鉄鋼などの装置産業を基幹産業とする工業都市。（開港1872年（明治5年）・市制施行1922年（大正11年））現況は製鉄、鉄鋼が衰退。
- 北関東以北15県のP.C.B廃棄物事業など、環境産業の拠点形成を推進中。
- 観光明媚な海景観や港内臨海部の工場群が織り成す「工場夜景」などが観光資源。
- 「豚肉と海からの室蘭やきとり」や「カレーラーメン」などが地産グルメ。
- 昭和40年代は、11万人の人口であったが現況は88.561人（H27年国勢調査）、現況では1/7時の1/3となっている。

(ロ) ~~事業概要について~~ 事業について

- 事業の構成
  - (イ) 室蘭市生涯学習センター（愛称：きらん）整備運営事業（事業期間：15年間）
  - (ロ) 付帯事業（民間独立採算事業）

駐車場整備運営事業 ○平成地区周辺に於ては かねてより駐車場不足による路上駐車問題が顕在化していたことから民間のノウハウを活かし、地域の活性化にも資する駐車場事業の提案を求めた。（市は生涯学習センター付帯施設に150台分を賃借）

⇒「24時間営業の立体式有料駐車（285台分）」に決定

余剰地活用事業　○「生涯学習センター」及び「駐車場」を整備した中、発生する余剰地の有効活用の観点から「多世代の利用や交流に資する機能」や「交通、交流人口の増加など市の活性化に資する機能」の民間事業提案を求めた。（土地は売却、定期借地の選択制とした。）

⇒「ビジネスホテル事業（105室）」に決定

（「移住お試し住宅機能室（6室）」、「センターとの連携スペース（ボランティア）」等整備）

※ホテル、レストランに決定　定期借地、建物はレストラン建設

● 事業概要

(a) 背景

耐震性能不足問題　○公共施設の多くは、人口最盛期の昭和30～40年代に建設されており、かねより「老朽化」や「バリアフリー性能不足」等の問題が顕在化していたが、人口減少や基幹産業の構造不況等を背景とした財政状況の悪化もあり、抜本的対応が出来ない状況が続く。

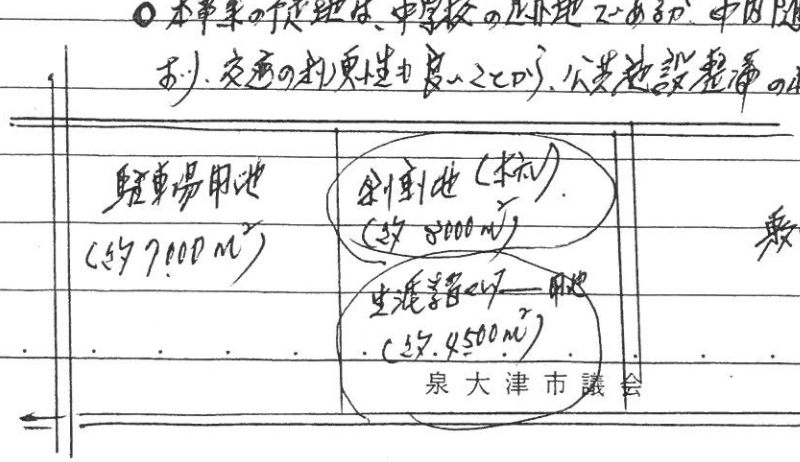
○この様な状況下、平成24年度に策定した「室蘭市耐震改修促進計画」に基づき実施した「耐震診断」により、多くの~~施設~~施設の耐震性能不足が発覚した。（41施設中18施設がNG判定）

○これを機に、従前は各所管部局が個別に行っていた公共施設のあり方検討が庁内共通課題に位置付けられ、「政策推進本部会議（市長、副市長と各部長職からなる庁内会議体）」による協議が実施される。

○同会議にて、各施設ごとの対応方針（①建替え ②耐震補強 ③機能移転 ④用途廃止等）を定めていく中で、本事業対象施設（機能の集約化方針）が定められた。

学校跡地の活用　○平成8年頃より児童・生徒数の減少に応じた小中学校の統廃合事業を計画的に進めており、これに伴い発生する学校跡地の活用策検討が課題のひとつとなっていた。

○本事業の予定地は、中学校の跡地であるが、市内随一の商業地の中心に位置しており、交通の利便性も良いことから、公共施設整備の適地と考えられていた。



(B) 概要

○ 耐震性能不足等の課題を抱えた複数の施設機能を集約するとともに市民の意望・意見を踏まえた新たな機能を導入した「複合公共施設」の整備事業。

集約する既存施設機能 ＋ 新たな機能

↓

複合公共施設（泉大津市生涯学習センター）

世代や分野を超えた様々な人が「集まり」「交流し」「多世代の交流拠点」

● 集約対象施設機能

● 総合福祉センター	1868.96㎡	老人、心身障害者、母子、父子、家庭に対する福祉の増進
● 青少年総合センター	1261.65㎡	青少年健全育成、青少年団体活動振興
● 中央会館	315.56㎡	市民の社会・文化活動等の用に供するため
● 市民活動センター	—	市民活動推進拡充機能（分庁舎ENTキーVB設置）

(C) 事業方式、事業費

○ 「D.B.O方式」を採用／「民間活力導入可能性調査」の結果に基づき決定（V.F.M最大=9%の効果）

D.B.O方式とは Design Build Operate の略。PFIに類似した事業方式の一つで、公共が資金を調達し、設計（デザイン）建設（ビルド）維持管理運営（オペレート）を一括して民間に委託する方式。

○ 施設整備費 20億2392万円（外構工事、業務委託費、既存施設解体費等を除く）

↓

財源内訳 国交付金 5億5804万1千円（都市再生整備計画事業交付金（社会資本整備総合交付金））
市負担金 14億6587万9千円

(D) スケジュール

○ H25「基本計画」策定（市民意見集約） H26～H28 対象業務処理、H29 8月 建設工事着工、H30 11月末日 建設工事完了、開館

※ ほぼスケジュール通りに進行中との事。H30 11月末で完成、開館に持っていけるとの事。

(八) 糟屋

○ 廃止される公共施設を利用していた人々、市民団体の当事業に対する提言、要望等について、聞いてみたが、好意的な声が多かったという事。要望も現状のサービスの維持を求める声が高いという事だが、今後、民間運営になっていくので、この点における多少の問題点の発生を私自身は持った。(指定管理業者対市民 使用料金や利用内容について)

○ 商工会議所や民間事業者の提言方もたずねてみるが、この点については事業のスタートをみた上で……という解答が多かった。

○ 新たな機能としては？ この点を問うてみたが、図書機能、子育て機能、カフェー機能の導入を述べられた。「地域や分野を越えた様々な人が集まり、交流する交流拠点を目指す」が基本コンセプトである訳だから、このソフト面の充実(民間に運営委託)が重要であり、この成果について私自身はおおいに関心がある。

以上。

(2) 小樽市

○ 岩船誘致促進事業について。(フルカード誘致)

(1) 小樽市について

● 小樽の開基 → 約400年前に松前藩の知行地として開かれ、やがてニシンを求めて定着する和人の数が年々増加。1845年、漁業を中心とした集落が4戸が建ち、後人も決まり「村並み」の組織ができる。この年を小樽の開基とする。明治政府が北海道開拓の本府を札幌に決めると、小樽は札幌をはじめとする道内への物流(陸送)港となり、又本州からの開拓移民も小樽へ陸し、北海道の奥地へ向う基地となる。

● 鉄道港 → 空知地方の豊富に埋蔵する石炭の搬出を目的として北海道で最初の鉄道が明治13年(1880年)11月28日に小樽の手宮(札幌)間に敷設

○ 小樽港は明治30年(1889年)特別輸出港に、明治33年(1899年)には外国貿易港(開港)に指定される。又明治30年(1897年)から大正10年(1921年)にかけて5度延長3555mの第北防波堤も築き、石炭はもとより、雑穀、日用雑貨等の輸出や移出が盛んになり、海産物は全国の7割が小樽に集まる。明治38年(1905年)南樺太が日本の領土となってからは、樺太航路が開設され、さらに第一次世界大戦の頃、日欧米航路

都市銀行や

No. 7

も開かれ、多くの船舶が来航し、港は大変ににぎわいを呈した。港のにぎわいは当然、街のにぎわいにも反映し、色内本通りには多くの~~[illegible]~~商社が軒を連ね「北の兜町」と呼ばれ、小樽の穀物相場が日本の相場に影響を与えると言われるくらい、世界の商流を反映し活発な取引きが繰り広げられた。

- 第二次大戦後 → 大戦後、経済構造や流通機構が大きく変化した為、小樽の経済を支えてきた雑穀、海産物等の卸商は衰退の一途をたどり、多くの大手都市銀行の支店が撤退した。「金融都市」と言われた長い年月の後、経済の再興を図る為、札幌自動車道の建設、南西地方を結ぶ大型フェリーの就航、中央、勝納、色内石炭埠頭等の港湾施設の整備、小樽駅付近再開発事業、国道拡幅工事、五号港線の建設等の施策が進められた。

- 小樽の今 → これらの都市基盤整備の中で、大正14年(1925年)に完成し無用のものとなった「小樽運河」の埋め立て計画や市内の石造りやレンガ造りなどの建物の保存や景観について注目を集める様になる。10数年に及んだ小樽運河の埋め立てをめぐる論争は、昭和54年(1979年)に全面埋め立てから一部埋め立ての折衷案をもって決着し、昭和61年(1986年)4月に現在の小樽運河の姿となって蘇る。これを契機に小樽に観光客が訪れる様になる。
年間の観光入込客数は806万1600人(平成29年度現在)に上っている。〈806万強〉
○古い技術力を生かした機械、金属製品、家具、木製品や新鮮で豊富な素材等を利用した食品加工品を多く生産し、全国的な販路拡大に努めている。さらに港湾を活用した環日本海地域の物流、人流拠点として対岸諸国との交流のより充実、又、小樽運河や石造倉庫群をはじめとする歴史と文化、海、山など地域の特性を生かしたまちづくりにより観光地となり「商工港湾都市・観光都市」の性格を有している。

- 人口 → 平成30年3月31日現在 11万9924人で昭和30年の20万人に比較し、大きく減少している(室蘭市と同様)。かつて産業は札幌、経済は小樽の時代があったが、これがすべて、札幌中心となる。一極集中(北海道に分かれる)が感じられる。観光都市として生き残っていく覚悟が必要であろう。

(ロ) 事業について

● 当事業はスタートから10年が経過している。クルーズ船の上海港~~寄港~~寄港推進事業~~は~~は順調に推移中
全国的にも早い方だと私は思っております。そこには上海市の物流港の歴史やこれからの
まちづくりの方向性、又観光資源等が~~背景~~背景にあると思っております。そして上海市
について長々と報告した訳です。この点を理解していただきたい。

● 事業については Q&A の形式で進めましたので一部を報告致します。

ⓐ クルーズ客船の入港に対する誘致活動について（初期から現状迄）/ 国内外の船会社や
旅行業者に対するアプローチは。又広報宣伝は。

○ 推進体制① ° 平成25年1月 日本海側拠点港（背後観光型クルーズ）選定 / 上海港、秋田港、酒田港（立山アルペンルート）
舞鶴港（京都）°（寄港数増の目的）魅力ある背後観光地を有する寄港の連携は外国船社に対
するクルーズ誘致の大きな誘引力となると共に、連携の輪へを活かして「面展の輪」の拡がり変わりも
1つのクルーズと提携できる。

° 平成25年4/11 環日本海クルーズ推進協議会を設立 外国語会（上海港、秋田港、舞鶴港）

° 平成25年9/26 中国上海市で開催のコンベンションに各港で共同出展 ° 平成25年3/11 クルーズショウ
ビジネスフォーラム2013年に参加 毎年3月に開催されるこの大会に以降毎年参加

° 平成25年5/29 平成25年度総会に於て秋田、船川、能代港、境港が加入 ⇒ 5港体制に

○ 現在の取組内容 / クルーズ客船誘致活動（海外コンベンション参加、外国船社キーパーソンの招へい）
環日本海クルーズ推進協議会のセミナー外訪問 など / 国策への要望活動

○ 推進体制ⓑ ° H25年度 上海港クルーズ推進協議会を設立（上海港貿易振興協議会からクルーズ客船
事業を分離独立）事業費は（H25年度）上海市負担 25万 （110万市負担、客船の寄港
回数により増減する）

° 主な事業 / 客船誘致促進事業（国内外の船社等各向け視察対応。スペインで開催
される世界最大規模のクルーズ見本市への参加、市職員をハブ、誘致PR 毎年3月）
広報宣伝事業（海外見本市~~で~~配布のパンフレットへの広告掲載やインターネットの配布。~~ホームページでの~~
情報発信）受入体制整備事業

一例として
○ 国内誘致活動 ° 2016 11/6 東京で「上海港クルーズセミナー2016」を開催（主催 上海港クルーズ推進協議会）
首都圏に於てクルーズ船社や代理店、旅行会社などの関係者を招き、クルーズ客船寄港
における上海港の優位性をPR

この情報を基に自分の港にあった寄港プランを考えている(検討している)
船会社へ直接売込み実施。

一例として

○海外誘致活動 ● 2017 9/4～9/7「シャトル・クルーズ・グローバル2016」に参加。米国フロリダ州フォートローダーデール(コンベンションツアー)が開催地。旧来クルーズ産業に携わる国や企業の多くが参加する世界最大の見本市。主な目的は船会社の情報収集が主体。

● 外国船社キーパーソン招聘事業/ウィンドスター・クルーズ社 メンバー ウィッツオーバー(環日本海クルーズ推進協議会について)

○船社等との関係の構築 担当者レベルとお互いの顔が見える関係 → 何を聞いても対応できる受入側の担当者が必要。出来れば1名で対応。(ワンストップのイメージ)。寄港社側は非常に多くなので連絡を取る際などに便宜が必要。

ⓑ 歓迎体制の整備とその充実について

○小樽港クルーズ推進協議会の事業として、受入体制整備事業がある。● 出迎え、見送りの実施(小樽クルーズ客船歓迎クラブ(会員数約180人))。● 寄港時の対応(通訳、観光案内、物産販売、外貨両替、アトラクション、地元グルメ、ケアンアンサー、など)。● 安全で快適なふ頭環境づくり(ハイヒール、バス会社等との連携など安全対策)等を行っている。

○小樽港のクルーズシーズンスタートする数日前に、年間の日程(寄港)を市民へ市の広報紙で知らせる。(ボランティアの募集)

○着岸バスの会場設置費(テント)や清掃費に年間予算として、約[illegible]万を計上している。

○クルーズ客船の受入歓迎体制の実例として、過去年間最多の41回の寄港があった2014年の事例を詳細に説明させていただく。(ダイヤモンド・プリンセスの初寄港日やサン・プリンセスの定期クルーズ初回の例等)又、ぱんけ「探ってクルーズ北海道」の開幕記念事業や(2015年)定期寄港時のふ頭におけるミニ縁日(2016年ダイヤモンド)の様子も説明させていただく。

ⓒ 寄港地観光プランの企画実施について

○朝着岸し夜出港する訳だから、日帰り可能なツアー造成が必要で、その点のアピールが最重要となる。小樽港の優位性として ● 新千歳空港や大都市札幌とのアクセスが抜群。● 港と市街地との距離が至近で徒歩での移動が可能。● ツアーバス等により日帰り可能な人気観光スポットが多い。● 台風シーズンでも荒天抜港が少なく、安定的な寄港が可能。● 小樽市内の観光スポットに加え北後志地域(余市町、仁木町、古平町、積丹町(余市川村))のスポットもある。最近人気のあるのは、ニッカウヰスキー(竹鶴政孝、エッサン)の余市である。

Ⓓ 客船専用のバスや客船ターミナル等の上屋の整備は現在どの様になっているか

○ 国道整備工事として平成20年度工事が一部完了してくる。フルスペック港湾として勝浦ふ頭第3号ふ頭の整備がある。/第3号ふ頭 受入可能客船は6万トン未満。小樽運河や堺町などの観光エリアのそば。駅前から見る客船の迫力は圧巻。勝浦ふ頭 受入可能客船は10万トン級まで。広いふ頭でバスタクシーが数多く乗降可能など。大型船受入れのオペレーションが容易

○ クイーンエリザベス・プリンセス（11万5875t）等 大型船の寄港を積極的に誘致

○ クルーズビルの建設は当面見送る方針

○ 水深10mコンテナクレーン等バネの長さが重要。/水深13m等バネの長さ

Ⓔ 過去の開港までに想定した事業効果と現況の事業効果に関しましての捉え方は

○	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
日本船	9	10	14	14	15	12	10	9	11	10	12
外国船	1	5	2	3	5	7	31	11	14	15	9
計	10	15	16	17	20	19	41	20	25	25	21 予定

○ 財政的には満足に足りる寄港数とはないが、上海港における貨物取扱量が減少傾向をたどる中で港に付随するサービス（水先案内、通関取扱業者、代理店業者など）はクルーズ客船の寄港なくしては成立しない現況と捉えている。

Ⓗ 結論

○ 通用とは現在当事業を上海、函館、室蘭、釧路の4港が実施している。過去、通用とは上海が一番であったが、ここ5年の間に函館が一位となっている。上海は早くから実施したが、他の港が誘致活動を活発化し現在第1位にとどまっている。新しい上海の開拓が急務である。（守勝）

○ 今後としては中国人に対する新プランの企画が重要課題/プランとしては世界遺産や祭のメリットとなってきている又電子決済も重要である。

以上

Ⓘ 鷹栖町

○ 民かぶ株式会社カードについて

(1) 鷹栖町について

● 食の宝庫 北海道の陸路中央に位置する町。加工品のうちは車で約30分。旭川経済圏といえるだろう。休日の買物は旭川市内へ。

● 産業は農業である。米は全国的に評価が高まる。ぶどうやトマトをはじめとする野菜、中小農業の内類。最近トマト作も有名になってきている。

● 人口は約7000人のまち（H22国勢調査 7018人）／最高気温は平成21年度の37.4度（7月）、最低気温も平成21年度の－31.8度である。ちなみに平成22年度は最高7月36.6度 最低1月－22.5度である。

(ロ) 訪問理由 感想

● 市内2箇所にある勉強会で「サポーターズカード発行事業」の話が鷹栖町役職員から紹介された。

✓ 議員提案として発案し、目的及び事業内容、市町村全域に対し広く広報と協議を行い実施した。

（平成22年の11月頃）

✓ 提携した加盟会社の数等に期待をいだいていた。実施にあたり、この様な大きな自治体で目的に沿った事業効果がでるのだろうか？ これを一度直接自治体に聞いてみたいと思い訪問した。〈空港、工場訪問とは少し意味合いが違う〉

● 発想着眼点については期待をいだいたが効果については考えさせられる点があった。
ハッキリいえば失望の念が高かった。この様な事業をヒントとしての次なる作りを考えていきたい。

(ハ) 事業について

● 平成22年度より町外の人々からも、まちづくりに参加応援してもらう為「ふるさとサポーター制度」を設け様々な取組みを進めた。

↓

● 当初、会員の証となるものが無かったが（株）サイモンズ社の提案もあり、平成22年11月からサポーター登録者の会員証として「たかすサポーターズカード（サイモンズカード）」を発行（57,400名が登録）（H28末）

◎「たかすサポーターズカード」＝サイモンズカードについて

✓ サイモンズカード加盟店（全国）やインターネットで利用でき、ポイントをためる事ができる。

✓ カード利用により100円につき1ポイントが加算される仕組みとなっている。（入会金、年会費無料）

✓ ためたポイントは加盟店で利用する事も可能だが翌年以降に利用しなかった場合、失効ポイントとして鷹栖町へ寄附される。（この点についてはカード加入時に必ず説明、了承してもらっている）

↓

● 当カードは自治体では全国初の「ふるさと応援」のポイントカード版としてPR

● 善意で寄附をいただいたポイントは「男女共同参画」の所入費用に充てる。

◎ ふるさとサポーターの募集について

V サポーター登録者の家族・友人等の紹介（町の情報を届ける年2回のふるさと商信・住民税時に紹介カードを同封し、紹介の依頼をお願い）

V 町のホームページ、イベント等による募集（ホームページにふるさとサポーター専用ページを設け募集受付を実施）

V 同期会開催支援事業（同期会やクラス会の開催は、県外町出身者がふるさとを再認識できる機会、活性の意識を集団状の申し込の手伝い実施し、出席者の方々にサポーター登録の協力を依頼。町内の飲食店で開催した際、1人につき2000円を補助する制度を設ける）

↓ V 新成人へサポーターズカードを申請（成人の日を記念してサポーターズカードを送付）

↓ サポーター登録（カード会員）状況

町外サポーター	1368名	（東京中心）
町内サポーター	568名	
合計	1936名	

※新規加入者は年次別

● 事業実績

H23	6549円	300,000円	
H24	31,763	300,000	
H25	17547	300,000	
H26	5135	300,000	
H27	10,528	300,000	
H28	7179	300,000	
H29	8392	300,000	
合計	~~決算ポイント~~ 87,093円 決算ポイント	2,100,000円 寄付	総計 計2187,093

○決算ポイントに関しては7年で87,093円たまり、平均12,000円強（年）。

○寄附は、サポーター企業からの定額寄附～

(二) 相談

● (株)サポーター企業について → 社長は育ち盛りで、FANCL（ファンケル）の出身者である。ちょうど40年の歴史である。地域貢献を真剣に考えており、その地域貢献として自治体との連携を模索する。模カード発行元は自治体でこの模様カードが発行されているのは(株)サポーター企業のみ。（他の加入会社はどこも実施していない）。サポーターズカードの発行総数は全国で1,800万枚。

● サイモン不在のメリット → 鷹栖町は全国で初めて取り組み（平成14年）当時としては相当なスピードであった。カイロの反响という仕掛けにより、相当なPR効果が発生した。

結論的には、行政（自治体）との連携を前面に打ち出し、カイロ会社のPR活動に使っている（実手カイロ会社との違いを訴える。）

● それ故、当事業額的に明白な負担を負っている。鷹栖町についても実効性のない金額がわずかなので、この金額はメリットとなる。

● カイロの都における課題としては → 道内に於けるサイモンカイロの加盟店が減っている点である。当初使用できた旭川の大丸や飲食店も使用不能となっている（メガネ店のみ）又鷹栖町はこれも使用できず。この点の改善と無い以前途は暗い。

● 私はカイロ（サイモンカイロ）の中を中心に説明していたが、この時はふるさと生涯学習課の方にこの事業を説明した。この感覚の違いが相乗の表現迄、ぎくしゃくした。

以上。